

製三次元培養口腔粘膜の開発. 公益財団法人富徳会  
研究者助成金, 2020.

#### 【学会発表】

- 1) 笹川祐輝, 中村由紀, 中島 努, 築野沙絵子, 朴沢美生, 五月女哲也, 岩瀬陽子, 齋藤一誠, 早崎治明: 小児のスプーンを用いた捕食時口唇圧に食品の差異が及ぼす影響. 第 58 回日本小児歯科学会大会, 宜野湾市 (誌上開催), 2020 年 5 月 21-22 日, 小児歯科学雑誌 58 大会抄録(誌上開催)号, 99 頁, 2020.
- 2) 稲田絵美, 齋藤一誠, 清川裕貴, 早崎治明, 山崎要一: 免疫染色された少数細胞の簡便な取得に基づくヒト歯髄細胞の遺伝子発現解析. 第 58 回日本小児歯科学会大会, 宜野湾市 (誌上開催), 2020 年 5 月 21-22 日, 小児歯科学雑誌 58 大会抄録(誌上開催)号, 134 頁, 2020.
- 3) 村上 大輔, 稲田 絵美, 齋藤 一誠, 海原 康孝, 野上 有紀子, 櫻井 薫, 山崎 要一: 小児における顔面軟組織成長変化の長期縦断研究. 第 58 回日本小児歯科学会大会, 宜野湾市 (誌上開催), 2020 年 5 月 21-22 日, 小児歯科学雑誌 58 大会抄録(誌上開催)号, 221 頁, 2020.
- 4) 諏訪間 加奈, 野上 有紀子, 葭原 明弘: 小児の口唇閉鎖力と口腔内を含む関連要因の研究 口唇閉鎖習慣と姿勢. 第 58 回日本小児歯科学会大会, 宜野湾市 (誌上開催), 2020 年 5 月 21-22 日, 小児歯科学雑誌 58 大会抄録(誌上開催)号, 95 頁, 2020.
- 5) 笹川祐輝, 中村由紀, 中島 努, 築野沙絵子, 朴沢美生, 五月女哲也, 岩瀬陽子, 齋藤一誠, 早崎治明: スプーンを用いた捕食運動における小児期の特徴. 第 53 回新潟歯学会総会および令和 2 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2020 年 7 月 4 日, 新潟歯学会誌 50(2): 111-112 頁, 2020.
- 6) 野上 有紀子, 中村 由紀, 築野 沙絵子, 鈴木 絢子, 笹川 祐輝, 五月女 哲也, 清川 裕貴, 朴沢美生, 岩瀬 陽子, 齋藤 一誠, 早崎 治明: 一時保護所における被虐待児童の歯種別う蝕有病率に関する報告. 第 37 回日本障害者歯科学会大会, Web 開催, 2020 年 11 月 13-23 日, 障害者歯科 41(3), 197 頁, 2020.

#### 【研究会発表】

- 1) 鈴木絢子, 兒玉 泰洋, 山口 勇, 岸本 一真, 干川絵美, 羽賀 健太, Orakarn Suebsamarn, 小松 隆史, 水野 潤, 泉 健次: 表面をマイクロパターン化した魚うろこコラーゲン製材のヒト上皮組織の欠損再建材としての利用可能性の検証. 第 36 回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」,

東京(オンライン開催), 2021 年 3 月 17 日.

#### 【受賞】

- 1) 野上 有紀子: 一時保護所における被虐待児童の歯種別う蝕有病率に関する報告. 第 37 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 第 14 回プロフィラックス賞, 第 37 回日本障害者歯科学会大会, Web 開催, 2020 年 11 月 13-23 日.
- 2) 鈴木絢子, 兒玉 泰洋, 山口 勇, 岸本 一真, 干川絵美, 羽賀 健太, Orakarn Suebsamarn, 小松 隆史, 水野 潤, 泉 健次: 表面をマイクロパターン化した魚うろこコラーゲン製材のヒト上皮組織の欠損再建材としての利用可能性の検証. 日本歯科医学会 第 36 回 歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い, Web 開催, 優秀発表賞, 2021 年 3 月 17 日.

#### 【その他】

- 1) 齋藤一誠: 「お口ぼかん」歯科通院の子どもの 3 割. 南日本新聞プレリリース, 2021 年 3 月 1 日.
- 2) 齋藤一誠: 子供 3 割お口ぼかん. 新潟日報 朝刊 19 面, 2021 年 3 月 2 日.
- 3) 齋藤一誠: 「お口ぼかん」有病率 30.7%. 科学新聞, 2021 年 3 月 12 日.

### 生体歯科補綴学分野

#### 【論文】

- 1) Omari F, Nagasawa M, Suliman M, Ameen K, Uoshima K: Peri-implant bone alterations under the influence of abutment screw preload stress. A preclinical vivo study. *Clinical Oral Implants Research*, September, 31(12): 1232-1242, 2020.
- 2) Lin JH, Lin IP, Ohyama Y, Mochida H, Kudo A, Kaku M, Mochida Y: FAM20C directly binds to and phosphorylates Periostin, *Sci Rep*. Oct 13;10(1):17155, 2020.
- 3) Nakata J, Akiba Y, Nihara J, Thant L, Eguchi K, Kato H, Izumi K, Ohkura M, Ohtake M, Kakihara Y, Saito I, Saeki M: ROCK inhibitors enhance bone healing by promoting osteoclastic and osteoblastic differentiation. *Biochemical and Biophysical Research Communications* 526(3): 547-552, 2020.
- 4) 丹原惇, 齋藤有吾, 松下佳代, 小野和宏, 秋葉陽介, 西山秀昌: 論証モデルを用いたアカデミック・ライティングの授業デザインの有効性 大学教育学会

誌 Journal of Japan Association for College and University Education 42(1): 125134, 2020.

#### 【商業誌】

- 1) 秋葉陽介, 木村龍弥, 魚島勝美: 新規保険収載純チタン2種全部金属冠について. 新歯界 797: 17-19, 2020.

#### 【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美, 加来賢, 秋葉陽介, 長澤麻沙子: 骨の骨細胞ネットワーク再構築と骨質に着目した自家骨移植の至適条件探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 20H03876A.
- 2) 魚島勝美, 秋葉奈美, 長澤麻沙子: バーチャルリアリティを活用した歯科技能教育の完全デジタル化. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽), 18K18633, 2020.
- 3) 加来賢, 泉健次, 佐伯万騎男, 井田貴子, 魚島勝美: 歯根膜組織幹細胞の運命経路と制御因子の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 18H02989, 2020.
- 4) 秋葉陽介: 規格化ナノ構造に接着する蛋白質が制御する細胞機能の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 18K09679, 2020.
- 5) 秋葉奈美: 生理機能允進細胞混合移植とレドックス制御による長期骨量維持可能な骨増生法開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) 20K10051, 2020.
- 6) 長澤麻沙子, 魚島勝美: 歯根膜の完全な再生を目指した意図的再移植法の新規開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20K10032, 2020.
- 7) 長澤麻沙子: 科学的根拠に基づいたアバットメント締付けトルク値の検索. 日本口腔インプラント学会令和2年度口腔インプラント研究助成金, 2020.
- 8) JM Rosales Rocabado, 加来賢, 井田貴子, 魚島勝美: Development of a novel cellulose scaffold to potentiate the transplanted cells survival for bone regeneration. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 18K09680, 2020.
- 9) 江口香里: 免疫寛容破綻を起点とした歯科金属アレルギー発症機序の可能性探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 20K18627, 2020.
- 10) 高岡由梨那: 歯科金属アレルギーによる乾癬症状増悪・継続貴女の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 20K23050.
- 11) 三谷咲貴: 次世代主要切削器具としてのジルコニアドリルの臨床的優位性を多面的に検討する.

日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 20K18557, 2020.

- 12) 泉健次, 芳賀永, 石原誠一郎, 加来賢, 佐藤大祐, 鈴木絢子: 足場材の硬さの違いを利用した上皮角化・化様式解明と培養口腔粘膜作成法への応用. 学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), H03870, 2020.
- 13) 加来咲子, 加来賢, 前田健康: 咬合力に応答する歯根膜組織幹細胞動態の in vivo 解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 19K10200, 2020.

#### 【学会発表】

- 1) Tabassian L, Nagasawa M, Ba A, Akiba N, Akiba Y, Uoshima K, Ohshima H: Comparing Dental Student Self-Assessment in the US and Japan. 2021 ADEA Annual Session & Exhibition, Virtual, Mar, 13-16, 2021.
- 2) Yamamoto Y, Nagasawa M, Hamaya K, Zhang T, Uoshima K: Histological Observation of Effect of Collagen Cross-Link Deficiency on Bone Augmentation. Academy of osseointegration Annual Meeting, Virtual, March 12-14, 2021. Abstract & Program book Page 127, 2021.
- 3) Arai M, Kitami K, Kaku M, Mizukoshi M, Uoshima K, Saito I: Possible contribution of Sox9 in development and maintenance of periodontal ligament. The 9th International Orthodontic Congress, Virtual Congress, October 4-6, 2020.
- 4) Mizukoshi M, Kaku M, Kitami K, Arai M, Saito I, Uoshima K. Characterization of Label Retaining Cells in Periodontal Ligament. The 9th International Orthodontic Congress, Virtual Congress, October 4-6, 2020.
- 5) 高昇将, 三井田慶斗, 木村龍弥, 青柳裕仁, 金谷貢, 魚島勝美: 歯科用高分子材料を強化するために必要な炭化ケイ素短繊維の繊維長の検討. 令和2年度(公社)日本補綴歯科学会関東支部学術大会, 誌上開催, 2020年11月8日, 同学術大会プログラム抄録集: 13頁, 2020.
- 6) 浜谷桂佑, 長澤麻沙子, 山本悠, 魚島勝美: 歯科生体材料を用いたラット垂直歯根破折歯修復の組織学的検索. 2020年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2020年11月7日, 同学術集会プログラム・抄録集: 1頁, 2020.
- 7) 高昇将, 木村龍弥, 三井田慶斗, 青柳裕仁, 金谷貢, 小川祐司: 炭化ケイ素の短繊維による歯科用高分子材料の補強効果についての検討. 日本歯科理工学会第76回学術講演会(関東・中部地方会 合同学術講演会), web開催, 2020年10月31日, 同

学術大会プログラム抄録集：18頁，2020.

- 8) 高昇将, 木村龍弥, 三井田慶斗, 青柳裕仁, 金谷貢: 炭化ケイ素繊維への市販シランカップリング処理剤を用いたシランカップリング処理が繊維強化型レジン of の曲げ強さに及ぼす影響について. 第39回日本接着歯学会学術大会, web開催, 2020年10月3-4日, 同学術大会プログラム抄録集:123頁, 2020.
- 9) 木村龍弥, 青柳裕仁, 高昇将, 金谷貢: チタンスパッタによる新規ジルコニア表面処理における処理時間が接着強さに及ぼす影響. 第31回日本歯科審美学会・第39回日本接着歯学会 合同学術大会, Web開催, 2020年10月3-4日, 同学術大会プログラム抄録集:126頁, 2020.
- 10) 長澤麻沙子, 秋葉奈美, 江口香里, 高昇将, 魚島勝美: バーチャルリアリティ(VR)とオーグメンテッドリアリティ(AR)を用いた支台歯形成練習の効果. 第39回日本歯科医学教育学会学術大会, Web開催, 2020年9月25日~10月24日, 同学術大会プログラム・抄録集:62頁, 2020.
- 11) 木村龍弥, 高昇将, 青柳裕仁, 金谷貢, 魚島勝美: メタライズによるジルコニア新規表面処理法の検討. 令和2年度新潟歯学会総会および第1回例会, 新潟, 2020年7月4日, 同学術集会プログラム・抄録集:13頁, 2020.
- 12) 浜谷桂佑, 長澤麻沙子, 山本悠, 魚島勝美: 垂直的歯根破折修復処置後の組織学的検索. 2020年度日本補綴歯科学会総会, 誌上&Web開催, 2020年6月29日, 同学術大会プログラム・抄録集:22頁, 2020.

#### 【受賞】

- 1) 木村龍弥, 三井田慶斗, 高昇将, 青柳裕仁, 大川成剛: ジルコニアへの新規表面処理による接着強さへの影響. 第75回日本歯科理工学会学術講演会 研究奨励賞 大学院生部門, 2020年4月18日.

#### 【その他】

- 1) 秋葉陽介: インプラント補綴治療により前後のすれ違い咬合を回避した症例. 日本補綴歯科学会誌 12(3): 296-299, 2020.
- 2) 長澤麻沙子, 浜谷桂佑, 山本悠, 張桐桐, 魚島勝美: 歯根破折歯に対する歯根膜再生法の開発. 第36回歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い, Web開催, 2021年3月17日.

#### 【論文】

- 1) Yaegashi A, Yoshida K, Suzuki N, Shimada I, Saijo Y, Toyama A: A Case of Severe Hepatotoxicity Induced by Cisplatin and 5-fluorouracil. *Int Canc Conf J*, 9(1): 24-27, 2020.
- 2) Shimizu S, Nakatani Y, Kurose M, Imbe H, Ikeda N, Takagi R, Yamamura K, Okamoto K: Modulatory effects of repeated psychophysical stress on masseter muscle nociception in the nucleus raphe magnus of rats. *J Oral Sci* 62(2): 231-235, 2020.
- 3) Yamada E, Kodama Y, Shingaki M, Nishikawa A, Yoshida K, Takagi R: Evaluation of optimal short-term amoxicillin use for impacted lower third molar removal. *Oral sci int* 17: 134-141, 2020.
- 4) Hara-Saito Y, Kato H, Saito N, Shiomi A, Uenoyama A, Takagi R, Izumi K: Distinct differences in hypoxic responses between human oral mucosa and skin fibroblasts in a 3D collagen matrix. *In Vitro Cell Dev Biol Anim* 56(6): 452-479, 2020.
- 5) Kaneko A, Matsumoto T, Iwabuchi H, Sato J, Wakamura T, Kiyota H, Tateda K, Hanaki H, Sakakibara N, Mizuno T, Miyajima H, Naito H, Takagi R, Kodama Y, Yamaguchi A, Akasiba R, Yamane N, Jinbu Y, Kusama M, Miyagi N, Kato R, Nakatogawa N, Izawa K, Tanzawa H, Kozu Y, Watanabe H, Matsumoto K, Shibahara T, Busujima Y, Takato T, Sakamoto H, Watanabe D, Kubota H, Sasaki J, Uematsu M, Sasaki M, Kaetsu A, Terasawa F, Yura Y, Iwai S, Morita S, Matsumoto K, Oonishi T, Komori T, Furudo S, Fujibayashi J, Urade M, Kishimoto H, Yoshii T, Morihana T, Miyai D, Okamoto T, Kanda T, Okamoto K, Sakamoto A, Matsui Y, Miyake M, Sawai T, Ikebe T, Hashimoto K: Antimicrobial susceptibility surveillance of bacterial isolates recovered in Japan from odontogenic infections in 2013. *J Infect Chemother* 26: 882-889, 2020.
- 6) Yamada A, Nagai T, Kitamura A, Kawasaki M, Kawasaki K, Kodama Y, Maeda T, Ohazama A, Takagi R: Changes in signaling pathways in the palatal cleft in CL/Fr mice. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 32(5): 331-335, 2020.
- 7) Yamada A, Kawasaki M, Miake Y, Yamada Y, Blackburn J, Kawasaki K, Trakanant S, Nagai T, Nihara J, Kudo T, Meguro F, Schmidt-Ullrich R, Liu B, Hu Y, Page A, Ramírez Á, Paul T Sharpe, Maeda T, Takagi R, Ohazama A: Overactivation of the NF-κB pathway